

大江委員 説明資料

令和5年12月20日（水）

第1回 クールジャパン・アカデミアフォーラム

Farm Diversification and Community-based Rural Tourism

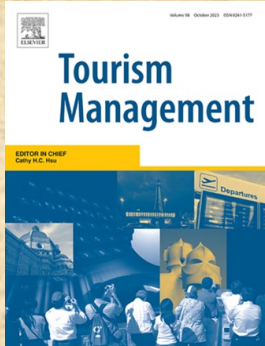
農業経営多角化とコミュニティ・ベース
農村ツーリズム
—我が国農村ツーリズム研究成果の
海外発信を目指して—



東京農業大学 大江靖雄

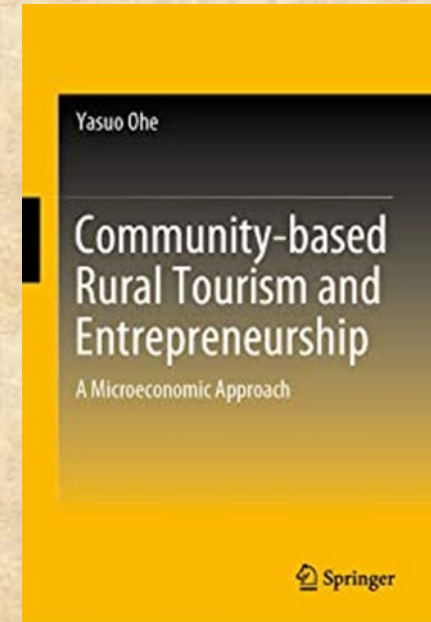
森林セラピーツーリズム (Forest Therapy Tourism)

- 森林セラピーは、日本で始まり、世界に拡大。
- 森林浴と森林セラピーの違い: 科学的エビデンスの有無
- 自然科学研究者と学際共同研究の成果
- 世界で初めて、都市勤労者を対象に、森林セラピーツーリズムの生理的・心理的効果を実証しビジネスとしての成立課題を考察
- その後のこの分野の先導的研究成果として、海外での頻繁に引用されている (140編2023年11月現在, google scholar)。
- Ohe, Y., Ikei, H., Song, C., and Miyazaki, Y. (2017) Evaluating the relaxation effects of emerging forest-therapy tourism: A multidisciplinary approach, *Tourism Management*, 62: 322–334. IP=12.7



コミュニティ・ベース農村ツーリズムのミクロ経済学的体系化

- 目的: 従来、アドホックな事例分析がほとんどであった。
- 共通言語で分析を統一行的に行い、教育と研究の進展を図る必要がある。
- 方法: 分析フレームワーク: ミクロ経済学の理論的フレームワークで計量経済学的分析手法で、実証的に分析＋事例分析
- 結果: 最初のコミュニティ・ベース農村ツーリズムの研究書
- 12K アクセス (Springer Nature url: 2023年12月現在)
- 引用数: 62 (Google Scholar: 2023年12月現在)



課題

- 基本的農村振興課題には、各国共通性があり、経験シェアの意義大きい。
- 我が国研究者の海外発信のモチベーション分野にもよるが、総じて高いとはいえない。
- 海外への研究成果の発信の動機付け(若手)
- 内向きの評価システムの課題